

平成19年12月6日

ダム守同心情報連絡票(第19号)

この情報連絡票は、灰塚ダムのダム守同心の方々並びに関係者の皆様に三次河川国道事務所灰塚ダム管理支所から灰塚ダム及びハイヅカ湖に関する情報をお届けするものです。

1. 灰塚ダム水源地域ビジョン準備会開催。

去る11月29日、湖畔の森レストランにおいて、灰塚ダム水源地域ビジョン準備会を開催しました。

準備会では、ハイヅカ湖及びその周辺の“魅力”“課題”について、意見が交換されました。

また、“魅力”や“課題”に対して、増進策や解決策について、さらにアイデア出しを行い、その内容についても意見を交換しました。

最後に、今後の進め方について確認し、12月19日に第1回の委員会を開催することが決定されました。

第1回の委員会では、ビジョンの方向性や具体的に検討するテーマなどについて議論を行うこととなります。

灰塚ダム水源地域ビジョンの検討、実施に多数の方々の参画を祈るとともに、灰塚ダム管理支所も地域の一員として、共通の目標に向かって、共に力を合わせて灰塚ダム水源地域の活性化のため取り組んでまいりたいと思います。

2. 外来魚のリリース禁止の浸透がうかがえるようになりました。

灰塚ダム管理支所では、ハイヅカ湖の巡視中に釣り人の人数の確認も行っています。

日曜日に最も多くの釣り人を確認しています。

9月13日にオノ峠広場に外来魚回収ボックスを設置しましたが、少しずつ回収量が増えています。

クーラーボックスに入れて持ち帰る人も見られるようになり、リリース禁止の浸透がうかがえます。

3. 灰塚ダム諸量

本日のハイヅカ湖への流入水量は毎秒 0.6m³、ダムから下流への放流量は

毎秒 1.5m³ です。

下流の上下川、馬洗川、江の川本川とも水量が少なくなっているため、ダムに貯留している水を使って毎秒 0.9m³ を補給しています。

ダムに貯留している水量はまだ 60%以上残っていますので、灰塚ダムの下流においては渇水の心配は今のところありません。

4. ハイヅカ湖の貯水位が低下しています。障害物等に注意をお願いします

ハイヅカ湖の水位は普段より 2m 以上低下しています。

そのため、特に上流側では、浅くなるなどして船の航行に障害となる箇所がところどころありますので、船をおろす場所に注意喚起の張り紙をしています。

船を利用される場合には普段以上の注意をお願いします。

5. 本号の最後に

冬の月はそっけなくておもしろくないとも言われますが、なかなかのものではないかと感じるようになりました。

真っ暗な夜空に高く品よく凜と輝いていて、人間はあんなところまで行けるんだと思うと、寒さに弱い私でも不思議と元気が湧き出るような気がします。

インターネットを見ていて、うれしくなるものを見つけました。

鳥取大学の先生がラームライトと呼ばれる経済シミュレーションモデルを使って、高速道路網が整備された時の便益を試算したものでした。

その試算結果を私なりに解釈すると、三次・庄原市域の人口当たりの便益は中国地方の中で最も高い地域の 1 つであり、中国横断自動車道松江尾道線などが開通すると、三次・庄原両市ともに年間 10 億円前後の便益があるとの結果でした。

豊かな自然、歴史、民俗、文化、人材を誇るハイヅカ湖の周辺地域が、そのような観点からもより元気になっていく地域なんだと感じられたからです。

灰塚ダム管理支所も負けてはいられません。地域のいきいきとした暮らしに貢献できるようがんばります。

管理に関してご指摘いただき、連絡などについて反省し改善することができました。また、環境調査の安全に配慮いただきイノシシへの対応など親切なご助言もいただき、おかげ様で無事調査を行えました。

皆様に感謝するとともに、情報の共有に努めてまいりたいと思います。

◇ 問い合わせ等連絡先 ◇

国土交通省 三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所

支所長 今岡 俊和 (imaoka-t87mb@cgr.mlit.go.jp)

事務係長 片山 直行

〒729-4302 広島県三次市三良坂町仁賀1575

電話:0824-44-4360(代) FAX:0824-44-3544